

「人生は敗者復活」

230901

2学期のスタートに当たり、夏休み中に私にとって印象に残った言葉について話をします。それは、夏の甲子園で大会連覇のかかっていた仙台育英高校が準優勝となった際の監督のインタビューの言葉です。「2年間で頂点、そしてあと1つの悔しさ共に味わうことができました。人生は敗者復活です。この経験を次に生かします」という監督の「人生は敗者復活」という言葉から、目標に向けて精一杯努力してきた人間としての輝きを感じました。

勝ち続ける人生はありません。常に負けがつきものです。しかし、負けて終わりではなく、再び立ち上がり、次の一步を踏み出すという繰り返しが人生です。うまくいかなかったり、失敗したりしたときにこそ、「敗者復活」と言い聞かせ、新たな一步を踏み出す姿に逞しさと強さ、美しさという「命の輝き」が生まれるのだと教えられた気がしました。

この2学期は、いろいろな大きな学校行事や大会があり、日々の学習も、生活も普通にあります。皆さんは夏休み中に、1・2年生は部活動や各自の目標とする活動に取り組んできました。また、3年生は進路や体育大会の準備をしてきました。それぞれに2学期スタートの準備はしてきたはずですが、しかしながら、その中には、結果が出せなかったり、思ったようにいかなかったりすることが当然あります。そんな時にこそ、「敗者復活」と考え、新たな一步を仲間や家族、先生といった周りに支えてもらい踏み出していくことが大切になると思います。

そして、生徒会スローガンの「OPEN～新しい扉をあける」を、また「みんなで、いつも熱く 夢を描き あたたく生きる幸中生」を家庭や地域に発信し、幸中生の命の輝きをアピールしてくれる2学期にしてほしいと願っています。